

エジプトとバビロンに対する神の裁き

聖書：エレミヤ 46:2-28. 50:1, 8-16. 51:6-9, 24-25, 28-37, 44-45, 58-64

- I. エレミヤ書は、神が入って来て、諸国民を罰し裁く絵を提示しています。諸国民はこの世の各面を予表します——エレミヤ 46:2. 47:1. 48:1. 49:1, 7, 23, 28, 34. 50:1:
- A. 諸国民についての語りかけにおいて、エレミヤは最初にエジプトを述べ(エレミヤ 46:2-28)、最後にバビロンを述べています(第50章—第51章):
1. これが示しているのは、神から見ると、この世はまずエジプトに属し、それからバビロンに属するということです。
 2. エレミヤ書の絵によると、最後に裁かれる国はバビロンです。神がバビロンを裁くとき、諸国に対する神の裁きは完成します。
- B. 神のエコノミーを完成するために、神の新約の選民である召会は、この世のあらゆる面から分離されなければなりません——ヨハネ 17:14, 16. ローマ 12:2. I ヨハネ 2:15-17。
- II. エレミヤ書第46章2節から28節は、エジプトに対する神の裁きについて語っています:
- A. エジプトが予表するのは、生計を立てる、享樂のこの世です。エジプトの支配者パロが予表するこの世の支配者サタンは、このような世を用いて、神のエコノミーのために神が選んだ人を占有し、強奪しています——創 12:10. 41:57—42:3. 民 11:4-6. ヘブル 11:25. ヨハネ 12:31:
1. エジプトという国は、暗やみの王国、暗やみの権威を表徴します——コロサイ 1:13. マタイ 12:26。
 2. この世は享受の源ではなく、暴虐の地です。この世のあらゆる面はどれも一種の暴虐です——ガラテヤ 4:8。
 3. この世の中で、サタンは神の選ばれた民を、すなわち神の定められた御旨を完成するために定められた人たちを、サタンの強奪する手の下に掌握しています——エペソ 2:2. ルカ 13:11-12:
 - a. 生存することは一つの事であり、神の定められた御旨のために生存することはもう一つの事です——ローマ 8:28. エペソ 1:11. 3:11. II テモテ 1:9。
 - b. サタンは人を強奪して、人が自分の生存だけを顧みて、人の生存における神の定められた御旨を顧みないようにさせています——マタイ 6:25, 31-33。
 4. 神がわたしたちを召した目的の一つの面は、わたしたちを用いて、他の

人たちをサタンおよびこの世の強奪と暴虐から連れ出すことです——使徒 26:18. エペソ 3:9。

B. この世は邪悪な体系であり、サタンが体系化した案配です—— I ヨハネ 2:15-17. ヤコブ 4:4:

1. 神はご自身の定められた御旨を成就するために、人を創造して地に住ませました。しかし神の敵サタンは、神の創造された人を強奪するために、文化、教育、工業、商業、娯楽、宗教をもって、人を体系化することによって、神に反対するこの世の体系を地上に形成しました——エペソ 3:11. 創 1:26-28. 2:8-9. 4:16-24。
2. サタンは地上のすべてのもの、特に人類と関係のあるもの、また空中のすべてのものを体系化して、彼の暗やみの王国とならせ、人々を占有し、人々を妨げて神の定められた御旨を完成させないようにし、人々をそらして神を享受させないようにしています—— I ヨハネ 2:15-17。
3. この世は父なる神に抵抗しており、世にあるものは神のみこころに抵抗しており、世を愛する者は神の敵です—— I ヨハネ 2:15-17. ヤコブ 4:4。
4. 「全世界」、すなわちサタンの体系は、「邪悪な者の中に横たわって」います—— I ヨハネ 5:19:
 - a. 「全世界」は、サタンのこの世の体系と世の人々(墮落した人類)から成っています。
 - b. 「横たわって」とは、邪悪な者の勢力範囲の中で、彼の強奪と操縦の下で、受け身的にとどまっていることを意味します。全世界と世の人々は、邪悪な者であるサタンの強奪と操縦の手の下で、受け身的に横たわっています。
 - c. I ヨハネ第 5 章 19 節で「邪悪」と訳されたギリシャ語は、致命的で、害を与える邪悪な者、人に影響を与えて、悪い墮落した者にしてしまう者のことを言います。そのような邪悪な者とはサタン、悪魔であって、全世界はその邪悪な者の中に横たわっています。
5. サタンは物質の世、この世の中にあるものを利用して、最終的に反キリストの王国の中へとあらゆるものを帰属させます。その時、この世の体系はその頂点に達し、その時、そのあらゆる構成単位は反クリスチャンのものであることが明らかにされます—— II テサロニケ 2:3-12。
6. サタンの邪悪なこの世の体系、暗やみの王国は、キリストの十字架上の働きを通して裁かれました——ヨハネ 12:31-32. 16:11:

- a. 主は罪の肉の様での十字架上の死を通して、人の肉の中にあるサタンを滅ぼしました——ローマ 8:3. ヘブル 2:14。
- b. このようにサタンを裁くことによって、主はまたサタンの上に掛かっているこの世を裁きました——ヨハネ 16:11。
- c. 主が十字架の上に上げられることは、この世が裁かれ、この世の支配者であるサタンが追い出されるようにしました——ヨハネ 12:31-32。

III. エレミヤ書第 50 章と第 51 章は、バビロンに対する神の裁きについて語っています：

A. バビロンはバベルから始まりました——創 10:8-10：

1. バベルで、サタンは人類に神に反逆させ、偶像を拝ませ、人の自己を高く上げさせました。こういうわけで、バベルは、人が神に反逆し、人が偶像を拝み、人が自己を高く上げることの起源、源でした——創 11:1-9。
2. バベルの継続はバビロンであり、バビロンは神の目に、人類の統治の完成です——エレミヤ 50:1. ダニエル 2:32-34：
 - a. バビロンの王ネブカデネザルは、サタンの具体化として、サタンと結合されて一になってさえました——イザヤ 14:4, 11-15。
 - b. バビロンは神の聖なる都と神の聖なる宮を破壊し、神の聖なる民と神の宮の器を捕囚へと運び去りました——歴代下 36:17-20。

B. 啓示録第 17 章と第 18 章において、復興したローマ帝国は、大いなるバビロンと呼ばれています。バビロンには二つの面があります。それは、宗教の面と物質の面です：

1. 啓示録第 17 章は、宗教のバビロン、すなわち背教のローマ・カトリックについての啓示です：
 - a. 神の目に、ユダヤ教の多くのものを引き継ぎ、異教の多くのものを吸収したローマ・カトリックはバビロンです。
 - b. 第 17 章 1 節の遊女は、背教のローマ・カトリックです。
 - c. 神は背教の召会を憎んでいるので、大患難の初めに、反キリストとその十人の王に、ローマ・カトリックを滅ぼさせます——啓 17:16-17。
2. 啓示録第 18 章は、物質のバビロン、すなわちローマの都についての啓示です：
 - a. 啓示録第 17 章と第 18 章で、バビロンの二つの面、すなわち宗教の面と物質の面が一つに混合されています：
 - (1) 第 17 章 16 節の遊女は、宗教のバビロンを意味し、ローマ・カトリッ

クを表徴しています。18節の女は、物質のバビロンを意味し、ローマの都を表徴しています。

(2) 大いなるバビロンには二つの面があるので、彼女から出るとは、宗教のバビロンと物質のバビロンから出ることを意味します——啓 18:4。

b. 物質のバビロン、ローマの都は、神の目に憎むべきものとなります。なぜなら、それは悪魔的な政治と悪魔的な宗教の源になっているからです——啓 18:6-8, 20-24。

c. もうひとりの御使いであるキリストは、地を照らし、彼の大いなる権威をもって、大いなるバビロン、ローマの都を滅ぼします——啓 18:1-2。

C. バビロンの原則は、人のものを神の御言と混合させることであり、肉のものを霊のものと混合させることです——啓 17:1-5：

1. バビロンは、神のものと偶像のものとの混合です：

a. バビロンの王ネブカデネザルは、エルサレムにある神の家を焼いて、神を礼拝するための神の家にあるすべての器を運び去り、それらをバビロンにある彼の偶像の宮に置きました——歴代下 36:6-7. エズラ 1:11。

b. 新約において、この混合は、大いなるバビロンをもって拡大されています——啓 17:3-5。

2. わたしたちは人の力と神の力が混合したあらゆる状況から、人の能力と神の働きが混合したあらゆる状況から、人の意見と神の言葉が混合したあらゆる状況から、出て来なければなりません——啓 18:4, フットノート 1。

D. 大いなるバビロンには、二つの倒壊があります。すなわち、宗教のバビロンの倒壊と、物質のバビロンの倒壊です——啓 14:8. 18:2：

1. 宗教のバビロンの倒壊は、大患難の始めに起こります——啓 17:16-17。

2. 物質のバビロンの倒壊は、大患難の終わりに起こります——啓 18:2, 21。

3. 啓示録第 19 章 1 節から 4 節の賛美は、おもに物質のバビロンの倒壊に対するものではなく、宗教のバビロンの倒壊に対するものです。なぜなら、神の目に、宗教のバビロンは、物質のバビロンよりもさらに憎むべきものであるからです。

E. 神がバビロンを裁くのは、バビロンのものが全く宇宙に残らない程度にま

エレミヤ書と哀歌
メッセージ 9 (続き)

でです：

1. イザヤもエレミヤも、いったんバビロンが滅びたら、それは回復されないと予言しました——イザヤ 14:22-23. エレミヤ 50:39. 51:62。
2. 神がこの時代の終わりに宗教と政治のバビロンを滅ぼすとき、それはエレミヤ書第 50 章と第 51 章で予言されたバビロンに対する裁きの終結となります。
3. 大いなるバビロンは破壊され、地から取り除かれ、火の池に投げ込まれます。そして、新エルサレムがもたらされて、新天新地における神の永遠の王国の際立った中心となります——啓 11:15. 21:2, 10-11。